



広島県立広島高等学校

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/17

学校の教科書やたまにやるテレビなどに出ている戦争や原爆のこと以外にも、実際に聞くことでさらに原爆のことを知ることかいてきました。内容も分かりやすか。たので、日本がどのような状態だったのか、人々の様子はどのような感じだったのかくわしく知ることかいてきました。原爆のおそろしさ、戦争を行うことによて失うもの、二のようなことを知り二度と戦争は行てはいけないと、思います。また、また戦争のことを知らない未来の人々にも戦争がどんなに苦しいものか、未来で戦争を起さないために語り断かてはなけれはいいけななものかと思ひました。今日おしえてもらったことはずと心に残ると思うので、家族などにも伝えられたらいいと思います。



長崎県立総合資料館

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

原爆先生へ

すごくこわかったしもう一度くわしくきいて
みたいです。

ぼくは広島におとされた事はしていたけど、
温度までは知りませんでした。太陽よりも
あついと聞いて本当にびっくりしました。

ぼくはじっさいに広島の前はくドームを見に
行った事があります。その時の様子などを見
て正直信じられませんでした。しかし先生の
話をきいてほんとなんかと思いました。

そして戦争は絶対にしてはいけないと
あらためて思いました。

戦争のことをしらない未来の人たちにも戦争のこわ
さを知ってよこしてわいけないものと言語りついでいき
たいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受けて、改めて原爆などの核兵器は作ってはいいけど、使ってはいいけど、そもそも戦争の起こってはいいけど、と思いました。私が特に心に残っているのは、死亡率が40%だという話をしてくださった所と、手を指し伸べても、皮膚がずる、とはかかれていやな感覚が残っていたという手記の内容と、平和記念館での「きれいすぎる」という言葉のところですね。死亡率が40%は、ひと「すぎる」し、そんなことが実際に起こっていたと考えるとぞくぞくとします。皮膚がずる、とはかかれ落ちたなんて、私ならこわくて泣いてしまうだろうなと思いました。「きれいすぎる」と言ったことから、もとひと「ありさまで、痛々しい様子で、それ以上に生と死のちょうど間くらいの場所だったのかな」と考えました。今は平和でも、その時間が長く続くとはいえない。だから、戦争ではなく、話し合いが一番いいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生の特^{じゆこ}別授業を受講して

表

ぼくは先生のお父さんが陸軍で
 行った九日間の話を聞いて、戦争
 は人から聞いてそのことが分かったとしても
 じっさいに戦争に行った人たちは分か
 からないとしても大切な自分で見るとゆう
 ことをしているのので、陸軍の人たちは
 なけるんだと思いました。そしてそれを
 何千何万何億人はものすごくあて
 はいけないことだと思いました。
 あと、先生が言えた、衝撃波や
 熱線は一瞬にして人を殺してしま
 うのでおそろしくてわかったです。
 体の水分が無くなるのが、バラバラにな
 るとか全身火傷になって、陸軍に
 助けを求めることとかは想像でき
 ないし考えてもこわくなるくらいなので
 爆弾とかにはさいやだとし心の底か
 ら思いました。戦争は絶体にも
 やってはいけないとめがことを教えるわけ
 であらう



原爆先生の特別授業

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

私は、原爆のおそろしさをあらためて
知りました。私は、祖母の父。私から見
ると、ひいおじいちゃんの話をよく
祖母がしてました。「辺り一面が焼野
原だったそうた。」とっていました。今日の
授業での後半、原爆についての資料
で、女の人のマネキンで「原爆の被害
を受けた人の資料で原爆先生の父
親が「きれいすぎる。」とっていた。と
いう話を聞いてた時、「これよりも
もっとひどい姿なのか。」と思い、想
像ができませんでした。私は、
原爆先生の授業をきくと大人に
なっても忘れないと思います。特
別授業をしてくれてありがとう
ございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して学び、
 原爆のおそろしさ外分りました。ぼくは原爆と
 言われても、いまいちよく分かりませんでした。それから、
 今日の授業で、またこの前見た、原爆資料館
 を通ってよく分かりました。ぼくは先生の話の中で、
 とても印象に残っているのが、原爆の表面温度です。
 太陽が6000℃に達し、7000℃という原爆の温
 度は想像ができない温度です。とてもおそろし
 くて、びくびくしてしまいました。またもう一つ心に
 残っているのが、先生のお父さんの乗っているトラック
 の荷台に「我れ先に」と乗ろうとする被爆者
 に手をさしのげたとき、ズルッとした音がな
 った。という言葉で刺された時少し体がソ
 ワッとしました。そんなにも原爆は、すごいものな
 んだと分かりました。ぼくは京都にもまた、横
 濱にいこうと計画して、いたのを初めて知りました。
 ですが京都には大切な文化財がある
 ので、おそれというよりは、なるほどと思いました。この話を
 聞いて、とてもびくびく、ゾクゾクとしました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受けて思ったことが2つあります。

その1つ目は、ご飯トつぶを食べられるのは幸せだということです。

戦争中の人には、1つの原爆でほとんど全てが燃え尽きたりされたりしちゃつので、ちよつとのご飯でも食べられなからたりするので、原爆先生の授業を聞いて改めて私たちが幸せにかまわれてるんだとと思いました。

2つ目は、戦争はもう二度と起ってはならないものだということ。もともと戦争は起ってはいいまいと分っていたけど、今日のお話や死者数を見て改めて起ってはいいまいものだと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講して、改めて原爆のこわさを知りました。広島市の死亡率が40%だったのにおどろきました。広島、小倉、長崎ともだめを中止してほしいかな～と思っています。ぼくは、もう一つおどろいたことがあります。それは、原爆のいりよくです。水っしょんにして、体の水分や川の水までも蒸発してしまうほど熱かったのにびっくりしました。原爆の表面温度は7000℃、太陽が6000℃なので、まるで小さな太陽だなと思いました。「リトルボーイ」は重さが4tもあるのにびっくりしました。4kmもはなれているのにそこにほぼ正確にとどくのはおどろきました。9日間、歩いて目的地まで、行っていたのが、ふしぎに思いました。歩いて行ったとしたら、すごく大変だったと思います。原爆雲は、長崎は見たことがありますが、広島のは初めて見ました。どうしたらあんな雲になるのだろうか、ふしぎに思うことがありました。今日、その理由を知れるようになるかな～と思いました。長崎の資料館には、行きましたが、広島のこと、原爆(戦争)のことをもっと調べてみたいなど改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆のことをテレビや本でも見て
いましたが、あまりよく分かっていません
でした。でも今回原爆先生の授業を受け
たら、戦争での苦しみや亡くなった方々のつら
さが心にきました。

それに、話の中での原爆でテレビに出て
いない本当のことが聞けてよかったです。
パラシュートの話で私はパラシュートで来た
り、こながたりさまさまな意見を聞いていま
した。でも本当はパラシュートではやってきて
いないと聞いて、本当のことを知れてよ
かったです。

最後に聞いた義三さんの話はその時の
ことを思い出しながら泣いていた義三さんが心
にしみました。資料館で見た写真を見た
人達は、きっとその人達の方が深く心に残る
だろうな、と思いました。私は今回の授業を
受け、原爆の恐さを知りました。だからこの先も
ずっと平和でいてほしいと私は思いました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は原爆先生のお話を聞いて今できている生活あたり前なことが戦争の時にはあたり前どころじゃなくて生活ができなくなることを知って自分たちは今とても幸せだと思いました。私はあまり戦争のことについて考えたことがありませんでした。でも原爆先生に聞いて本当に戦争の時は苦しかったんだなと思いました。原爆先生のお話で一番心に残ったところは、助けをあげようとしたらやけどした皮膚がはかれてしまったというところです。本当にこわいと思いました。原爆先生に教えてもらったことを私も家族やいろいろな人に話して戦争のおそろしさを伝え、戦争がおこらないようにしていきたいです。そして私もと戦争のことを知ってこれからは戦争がおこらないように自分には何ができるかを考えていきたいです。



名刺程度に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受けて、戦争は絶対にやては
いけないことだなと思いました。
原爆を投下したら、真上から3000
この熱風がおよせてきて、いっしょん
で体の水分がじょうはつしてしまう
ということも聞いて、ゾッとしました。
原爆が投下されて、消えや死体の
ろくもした人が、作業に向かって
移動している間に、兵隊さん助けと言っ
て、木やけなどをしている人を助けたら、
体がベリベリとはがれたことを
知って、これからも原爆や戦争が
なくなればいいなと思いました。
た。



原爆先生の特別授業を受講して



ぼくは、原火暴先生の特別授業を受講
 して、ぼくは原火暴のおそろしさが、
 授業をして、あらためて、
 わかりました。あと、ぼくは
 原火暴が、どなただけのむかいかで、
 原火暴おとした人は、どんなきもちで
 原火暴をおとしたんだろうと思っ
 たし、同じ人間なのに、なぜあらそ
 たりするんだろうと思っ
 たし、ぼくは、原火暴は、どうゆゑに思
 った人はいたのたろうと思っ
 た。その原火暴は、一週で、た
 くさんの人の命をうばった
 いきを、もういぢど、広
 まのようにながさきにおとし
 て、どなただけの人がくるし
 むのかをおとす人は、わか
 っていたはずなのに、なぜお
 そうとしたのかなと思っ
 った。原火暴のことについておし
 えては、ありがたうござい
 ます。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

ぼくは、原子爆だんのい力がとてもこ
わいと思いました。一番こわいと思っ
たのは、あっせんです。あっせんでは体の水分が
じょう発して灰になってしまうというの
がこわいと思いました。また、中心部は100万度もあ
り周りが7000度もあり太陽よりあついの
がびっくりしました。しかも太陽よりあつ
いのが600mも近くにあってうたいたい
死人じゃうたうなと思いました。しかも
原子爆だんにしゅうげき波が二回くるこ
とにすごくこわくなりました。しかも放射
線もあるなんでもものすごくこわいな
と思いました。またぼくは、原子爆だ
ん投下の条件があるなんでもびっくり
しました。なぜかと思ふことは、「リ
トルボーイ」という名前の意味をなん
でこしたのかとエノケイの名前をた
いさのお母さんの名前になんでは
いたのかと思いました。

怖



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の被害がひどかったのは、前から知っていました。でも、何時に投下されたのか、なぜ広島が選ばれたなどのくわしいことは知りませんでした。ふたぶん、社会の勉強をしている時も「戦争は絶対に起こしてはいけない」と思うのにくわしく原爆のお話を聞いたら、「戦争は絶対に起こしてはいけない」を通りこして「信じられない」「怖い」と思いました。「同じ人間なのにどうしてこんなことをするんだろう」と疑問にも思いました。先生のお父さんが体験した事がどれだけ悲惨だったか、苦しかったか、悲しかったかを考えるたびに胸が苦しくなります。京都に原爆を落とさなかった理由を聞いた時思わず、「だったら原爆なんか落とさなければいいのに」と思っていました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は原爆について色々な事を
 教えて下さりありがとうございます
 でした。ぼくは、原爆は危険な事は
 知っていましたが人が一瞬で焼け
 死んでしまうなんておどろきました。
 また、原爆が爆発した時の音が怖か
 たので当時の人はもっと怖かったんだと
 思い、自分におこったらどうしようと思
 いました。鉄が一番強く、コンクリート
 は二番目に強いと思っていたけれど、
 鉄は、とても硬いけれど、熱で、とけて
 しまうのでコンクリートの中で、人をはさ
 いた人、助かった人がなと思いました。
 皮膚が、たれさかり、肉が見えてくるの
 は想像するだけで痛々しいのに、実際
 になった人はもっと痛いだろうなと
 思いゾッとしました。今回は、本当に
 原爆について教えて頂きありがと
 うございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは、原爆先生の授業を受け
けるまで、戦争や原爆のことをあ
まくみていました。しかし、原爆
を受けた人々の思いや、必死に
生きようとする人々の姿を見ると
戦争があったことを忘れては
いけないと思いました。

今の自分にできることが分かり
ました。それは、今の生活を守る
ことです。また、戦争が起こらな
いたためにもぼくたちが気づけて
いかなければならないと思いまし
た。「これからの未来で、戦争が
二度と起きないように」という思いが
こめられて原爆ドームが
あります。この原爆ドームに
こめられている思いを忘れずに
過していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は、原爆の威力におどろきました。太陽よりも熱い7000℃で落ちてきて、人々をすぐに炭にし、ものすごい爆音でバラバラにするということが、とてもわかりました。また、影を残してせなくなったということも、すごくひどいせくなり方だと思いました。8:15だと、私たちは学校にいます。もし、そこに原爆が落ちたら、と考えると、とてもわかります。つらい戦争は、もう二度としてはならないと、改めて、感じました。なので、この気持ちを、私たちが後生に伝えたいと思いました。私と同じ年齢だった人も、大人も、赤ちゃんも、老人も、とても苦しく、つらい思いをしたということを知り、私たちに出来ることは、これしかない、と考えたからです。もう苦しむ人がいなくなるように、これから大人になる私たちが、「絶対に戦争はしない」と、さらに世界へ広げていきたいです。



特別授業講師 原爆先生

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}



ぼくは、原爆は本当にとってもおそろしいもの
だったのだなと実感がわきました。原爆は、
なにもかもらっとはしてしまい、いかがすさまじい
と思いました。もう広島みたいにならな
いように、戦争はおこらないようにしてほしい
です。また、「リトルボーイ」はとてもきれいと思いま
した。なぜなら太陽よりも熱い爆弾が東京スカイ
リリーの第二展望台あたりで爆石皮するから
です。もう「リトルボーイ」が落とされて70年も
たっています。70年もたつと原爆のことを忘れ
てきますが、原爆のこわさは絶対に忘れては
いけないと思います。そして、戦争はもう二度と
してはいけないと思います。戦争は勝っても
負けても死にます。悲しいことです。
これがおこらないためにも原爆のこわさを
忘れないようにしたいです。90分間の
授業ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生のお話を聞いて何度も耳をふさぎたくなるような話や心が痛むような話ばかりでした。戦争に実際に行っていた人のお話なので、本などでもびっくりした事はあったけど、それ以上にびっくりしました。私が特にびっくりした所は、原爆にやられてしまった人達の所です。お話を聞いているだけでもゾクゾクして、耳をふさぎそうになりました。また、アメリカの攻げきはすごいなと思いました。また、その攻げきの温度にもおどろきました。太陽の表面温度よりも高い熱をもっているなんてびっくりしました。その他にも兵の人々はただ攻げきをするだけじゃなくて、その場所に行って、原爆で亡くなってしまった人、けがをしている人を助けていたんだなと思いました。原爆先生のお話は本当にびっくりすることだらけで怖かったけれど、そんな事が起きていたということは、話を聞いている私よりも怖い思いをしているんだなと思いました。そして戦争はやっぱりしてはいけないなと思いました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して



私は原爆先生の話を聞いて、リトルボーイのことや、一番どこがあらあれやすいのかとかリトルボーイはどうやたら回転するのかや爆発したあとのキノコ雲や、いろいろ知ることができました。キノコ雲はなぜって人が平でたいのかとかどうしてキノコ雲ができたのかが調べてみたいです。あと、なぜ東京スカイツリーぐらいの高さでばくはつするのか不思議です。そういうのをもと調べてみたり本で調べてみたいと思います。

私は原爆にあつた人たちはみんななみみたいになつてしまったことが悲しいなと思いました。私はこどもは水はけについて調べてみたいと思います。



表紙(表紙) 著者: ひろしま

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いてすごい説得力があって2時間くらいあったけど、というままだたしすごくよく知れました。本などは実話と実話じゃないものがあるけど完全実話ですごい具体的に分かりやすかったです。

私は、7000°というところにびくりました。ふつとさる温度は約100°でそれだけでも熱いのに7000°なんて位もちがうし今じゃ想像もできません。それに人の皮膚がめくれて、激痛がはしたり川の中の人やゆでタコのように真赤になっていると言われても正直想像ができません。なので戦争や原爆は人の想像範囲を大きく上回っているほど凄くなことだと思いました。原爆先生の話で私は戦争のことよりもっと深く考えるようになりました。原爆のつどはさーと忘れてはいけないと思えます。



特定非営利活動法人原爆先生

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日はおいそがしい中、お来いただき
ありがとうございました。先生のお話を
を聞いている中でこわい部分など
自分が体験しているようにとても頭に
みつきました。先生のお父様は、テレビの
ようなあえないことを若い時に、経験
してよく冷静な対応ができるなと思い
ました。私なら、たえられなくてくる。ちやい
そうだなと思いました。女性への返信の
内容を知り、女性が助かっていたのは、
お父様のおかげだと思うのでお父様は、
人の命を助けたとても素晴らしい人だと
思いました。爆弾の下にいた人が白い光に
つつまれて消えていったと聞いた時、消えて
いった人はどのようないたみなどを感じて
いるのかなと気になりました。もしも、自分
達もそうなってしまうと思うとこわくて
たまらなくなりました。大切なことを教えて
くれてありがとうございました。



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

「原爆、原爆。てみんな言うけど
本当はものすごくおそろしい物だと
知らない。ぼくもその一人だった。
でも原爆先生の授業を受けて、
考え方が変わった。原爆というのは
この世から消さなければいけない
ものであることが分かった。そも
そも、原爆を落とさせないようにす
るにはまず戦争をしないことが、
大切だと思えた。ぼくは、原爆
先生の授業を受けて、戦争か原爆
の考え方が、すごく変わった。
授業をしていただきありがとうございます
ございました。」



原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私も原爆ドームや資料館に行ったことがあります。あまり原爆にくわしくなかったのでもこわいなくらいにしか思っていないでして。しかし、今なら間違いなく別の視点から見ることが出来ます。7000℃の少年「リトルボーイ」でじれた「け」の人が、苦しみもかいたのか。

さらに今回は原爆病についても知る事ができました。2018年8月15日にテレビで放送していた「夕なきの町 桜の国」で家の近くがさつえい現場になっていることから興味を持ちましたが、その場は無傷なのに後から症状が出ることにびっくりしました。

これからは広島で七くなつた人たちの分も人生を生き、命の尊さを忘れずに歩んで生きたいです。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

ほくは、今日の授業を受けて、原爆のことが分かりました。その中で「びっくりしたことが」たくさんありました。まずは原爆の火暴風のはんいがとても広かったのにびっくりしました。それと、気温高さもずいぶん高かったのていとても印象に残っています。

中心が100円、60cmもはなれた場所でも3000°とかなり高いです。これが「投下された」と考えると、本当におそろしいと思います。それと、授業を受けて、改めて原爆ドームはすこぶる思いが、当時、原爆ドームはとりこぼしが残しておくと、ということがありました。とりこぼし側の人はいさんた「から見たくない、など」といって、これを未来に受け継ぎ、多くの人に原爆のことを知ってもらいたい、と思ってたんだと思います。

今日は、東小に来て、「あつた」って、あつた「あつた」って、自分も原爆のことを忘れずには生きていこう。



原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

言葉では言い表せないほどの原爆のおそろしさ、自分の想像をはるかに上回る被害、今まで「読んだ」といっても本にも教えられなかった原爆の悲惨さがよく分かりました。広島と長崎の他に、小倉・横浜・新潟・京都の4都市が候補にあがっていたことなど、自分が知らなかったさまざまなことが矢口されました。まだまだ自分は原爆のことを分かっていないんだと実感しました。また、広島のことだけでなく、アメリカの「エノラ・ゲイ」や「ラジオ・ソントン」など、全く知らなかったことも矢口することができて、より原爆のことを深く分かりました。



特定非営利活動法人原爆先生

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今まで、社会の授業などから、戦争のことについて学習していました。

でも、今回の特別授業では、広島に起きたことや、実際に体験した人たちの様子がよく分かりました。でも、私が思っていたよりも、ずいぶん過酷なことだったというのが分かりました。

話を聞いているのが辛いほどでした。

そのかわりに、今私が平和な日本に生きていられることが幸せなのをとっても感じました。

そして、絶対に、このような事を行ってはいけないのもわかりました。そして、やる必要がないと思いました。

また、「起きたことを言葉では表しきれない」と言っていたのが心に残りました。

今日、この授業をやって

とてもいい機会になったと思います。

よかったです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

戦争のこわさを知りました。
戦争を体験していない人が戦争
のこわさを良知り知ってもらい、おお
くの人にそのこわさを伝えてほし
いと思いました。原子はくたんの
暑さが7000℃で太陽より、
1000℃暑いのにとてもおどろき
ました。そして、やけどになっ
てしまった人がとてもかわいそう
でした。且かけられず、そしてきずの
痛みなどいろんな事があり
て本当にかわいそうでした。
そしてその人達を助けられな
かった、兵隊の人がとてもつら
かったと思いました。ほくは
今回教えてもらった事をいろ
んな人に教えてあげたいと
思いました。



原爆先生の特別授業を受講して



私は、この特別授業を受けて、戦争って思っていたより、すごが、たのだなと思いました。とくに1リトルボーイが16歳で発した時、人が白い光に包まれてもともとそこにいなかったかのように、あとかたこもなく消えてしまったことに一番きょうろを感じました。そして、原爆ドームの近くには、爆発で死んでしまった人たちの死体、体の皮がはがれおちてしまっている人間ではないような人たちが、町にたくさんいると考えると、すごくゾッとしました。なので、改めてこのような戦争がもう二度とおこらないでほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の特別授業を受講して、広島原爆がどんなに悲惨だったかが分かりました。

国語の教科書に原爆ドームについて書かれた文があり、読みましたが、それよりも伝わってきました。

資料もあったので、原子爆弾について、くわしいことが分かりました。

原爆先生も、手をななめ前方にした様子とかを、再現してくれて、被爆した人の様子が、想像できるくらい伝わって、とてもこわいなと思いました。

「戦争をもう二度とや、てはいけない」という、言葉の本当の意味が分かりました。



広島県立広島高等学校

原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受講して原爆の恐しさやその原爆での死者の数などを聞いて初めて戦争や原爆の恐しさを知りました。原爆での負傷者の話を聞いてるだけでその時の生々しさを想像できる話でうげさかはんはなかつたです。原爆、原爆と軽々しく言うけどもし原爆を体験した人がいたらこの話を聞いたらどう思うのかと思いました。今の生活の平和さ、これからの平和をどの様にしていくかと言うのがこれから僕達が一々考えて生活していかなくては行けないと心の底から思いました。

家に帰って親に今日学んだ事を話したら母が中学生の時に行った原爆ドームの事について、たくさん事を教えてもらいました。中学生の時に行ったという事は原爆の恐さを語りつぎ二度と起してはいけないという事を次の世代の人に語り行かなければならない物だと思ひ、二度と起こしてはいけない事だと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

ぼくは原爆先生の授業を聞いて、原爆がいかにおそろしいかがわかりました。

なぜなら、原爆はあつさだけでは、ないからとてもしょうげきは、かぬることにとってもおどろきました。またイメージしやすいように太陽がととても近くにあり、など、言ってくださってありがとうございます。

正直原爆チームの早真だけでも、こわかったのに、「きれいすぎる」と言ったのととてもおどろきました。

またぼくのたん生日は、8月9日なので、長さきの時はどうだったのかも考えながら書いていました。

最後に、原爆のおそろしさをどんな物か、お父さんがいらしてくださった時にとっても、さんくんな物だ、たんだらと思いました。



特定非営利活動法人原爆先生

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原しばくだんのことや、原しばくだんが"おとされ
た直後、生きていた人が"いまでも死にぞうで"
とてもやさんなあか"たをみることのつらさは、
いっさいに戦争を体験した人でなければ
は"わからない苦しみか"あるのだ"な。
と思いました。また、原しばくだんは、
おとされたいっしょんのうちに広島にいた人た
ちをやいて、火の海にして、まるで"ごくの
やうにしてしまったのだ"と思いました。
空からふってまた黒いごまのようなものが、
いす"れ広島や長崎に大きな被害をあたえるこ
とと知るなんて、空をみていた人たちはなにも考えて
いなが、たのだ"と思います。もし今の時代に戦争
が"起ったら...。考えるた"けて"とてもり"と
してきます。二度とこんなことが"おこらないよう
に、未来に、世界に伝えていのは、私たちがた"
のだ"な。と感"じました。私は当時あったこのこと
決して忘れないようにしたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の授業を受けて思ったことは、「こわい」と思いました。特に、先生が急に「ヒッカッ！」と大きな声でいった所や、こわい表現などが印象に残りました。また、広島のことを知れて良かったです。広島はおじいちゃんの出身土地でもあって、一番広島のことか気になっていたので、知れてとても良かったです。その他にも原子爆弾を投下する条件として、直径5kmを超える、平野であること、空しゅうかたがたという、3つの条件も分かったので良かったです。そして、私がびっくりしたことは、原爆の温度です。原爆の中心は、100万℃でまわりは7000℃という高温にとってもおどろきました。改めて戦争のおそろしさが良く分かりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生へ

原爆によりと云くらしいの人が言ふ だの
かゝるして、ワークリトルボーイが原子爆弾のこ
ろをたしることまで言ふした。そしていままでイン
ターネットで知った情報とはちが、てよりリ
アルな事が分かりました。インターネットに
のっている情報はよくまとめてあります
が原爆先生の授業は一人一人の事
がよくよく話していても分かり
やすかったです。また受けてみたいな
と思いました。



本稿は原爆の語り部から聞いた話です。

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆の話しを聞いて残った人などは思いました。関係のない人々を何十万人も殺しているからです。一つの爆弾で大やけどや手足を失った人がたくさん出て必死で生きようとしている、想像しただけで苦しみが伝わってきました。せくま、たんの処理をする話では、いらいきを受けました。原爆が落とされた場所の死体があるところが、水をためていた場所であり死体はゆであがっていた、とい部分です。話しを聞いて戦争は何のためにおこすのたろうと思いました。話し合いをすればいいのに、人を殺す意味がぼくには分かりません。これ以上は戦争を起してはちうまいとぼくは思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原爆の事や戦争の事などを
教えてもらって、原爆の被かひのひとさ
などを知れました。

私は、広島に行った時に原爆資料館に
行って皮ふがドロドロになった人をもけり
見ました。けれどその人たちは今日
聞いた話よりぜんぜんまじできれい
だと思いました。

原爆がおとされまでいつも通りの生活を
していたのに、原爆がおとされてから、

その生活が一しんで消けてしまっ
てとてもかめいそうだと思いました。

このことから、戦争や原爆はせったい
にしてはいけないとあらためて分
かりました。

とてもいい勉強になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆の事について、何も知りませんでした
が、この特別授業を受けて、原爆について色々
な事を知る事ができました。また、テレビで
聞いたときは、かわいそうだなと思いました
が、実際に体験した話を聞いた
ら、その残こくさが分かりました。
話を聞いているとき、鳥肌が何度か
立ちました。自分でもとてもおどろきま
した。なぜ自分でもおどろいたのかと
いうと、話を聞いて鳥肌がたつの
ははじめでだったし、あのそわそわって
いうかんじがなんか少し怖かったから
です。また、教科書にはのっていない、しゅ
げきの事実を知れて良かったです。私にとって
とても忘れる事ができない貴重なお話を
聞かせていただき、ありがとうございます。
良い経験になりました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

〒730-0001 広島市南区大田原1-1-1

ぼくは原爆先生の授業を受講して、
 色々な考えが乱れだした。たとえば「なんで
 アメリカは、そんなひどい事をしたのせう
 う、なんで。そのほかにおそらくも人も
 は戦争を好むのせうか、などと。その戦
 争のせいで、原爆がおとされ24万人が被
 爆しました。ぼくは話しを聞いて、今まで原
 爆はとてもおそろしいと思っていまいた
 が、話を聞いたら、ぼくの想えうの何倍もそ
 ろしい物だとわかりました。ぼくはニュー
 スなどで、原爆はこの世界からなく
 すべきだと言っているおたしかにそうた
 と思いきり下す。その前に戦争をなくせ
 ば、必然的に原爆がいらなくなる
 処理されると思ひます。なので、この問題
 に立ちあがらうには、みんなが「原爆」とい
 う物を知り、その問題に立ちあがらうべきだ
 と思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、おばあちゃんとおじいちゃんが広島の人なので、話はよく聞いていました。でも親せきの話ばかりで、ひさい者の人数についてやばくだんについて、くわしくは知りませんでした。また、毎年げんぱく資料会はこわくて行かなかったけれど、今回話を聞いて実際はもっとひどかったと思えばそんなことでこわがっていてはダメだと思いました。また、もっと戦争について知りこの後の人達にも伝えていかなければいけないと思いました。そして、戦争の時代生きていた人は本当にすごいと思いました。悲しみも苦しみも痛みも経験して、考えるだけでもつらいのに、それを実際に体験しているからです。このような経験をした人もなくなる人ももうにとど増やしたくないので絶対に戦争はしてはいけないなあと思いました。今回はありがとうございました。



原爆 先生へ

ぼくは、この二日時間で広島原爆の心
さんさと人々のくるしみ原子爆弾(リ
トルボーイ)と人間のおそろしさ、原子
爆弾による心がいを知った。

70000の少年の意味はリトルボーイだと
わかりました。リトルボーイは日本語で
ちいさな子とゆう意味そして70000の
爆はつをした。

そして博物館に展示されている物だ
けでもおそろしいのに本当はもっとひどか
た。

そして原爆先生が二日時間でこれほどの
しょうほうをおしえていただきありがとうございます
ございます。



も何日か後に読んでくださることを願っています。

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

原爆の勉強をして、広島では、14万人も、死んでしまったことを知り、原爆とは、おそろしいもので、この世界から、原爆が、なくならないと、いけないと思ひました。衝撃波の速さは、毎秒440mということを知り、すごく、速いと思ひました。そして、音速は毎秒340mなどで、すごく、速いと思ひました。他にも、原子原爆から、150mの電話局の、地下のトイレに行っていた人は、助かったので、きせき大と思ひました。これからは、原爆にいた人々のために、私が、できることを、力つくして、やりたいと思ひました。そして、7000冊の少年や原子原爆の歴史などを、読んで、もっと、原子原爆について勉強したいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前：ラウラ (に しとくたせい)

1/7

ぼくは、原爆^{日暴}のことはなんにも知らなく
 て、広島に、原子爆^{日暴}たんがおとされたんだ。
 くらいしか、しりませんでした。しかし、
 原爆先生の話を聞いて、原爆のおとされた
 ようすや、ひがいのことや、ばくたん作り
 とかどういったことがあつたのがエおし
 くれました。ぼくは、原爆への思いが
 すごくかわりました。昔のすごく(はく)風で、
 なにかおこつたのが、いえまなにもかま、
 なくなり、しんしゃんで広島がなくなる
 ということは、すごく、ひどいことだと思ひ
 ました。今の広島とは、想像も、つかな
 いような、どうたいで、目かけて、見けると
 言っている人々の所かべにのこつていて、自分
 が兵隊だつたら、どうしていたのだらうか？
 などかんがえると、すごく、こわくなつてしま
 いました。2時間も、おしえてくださり
 ありがたうございました。このことをわすれ
 ないようになつて、住きたいと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の特別授業を受け、
ぼくは原爆の被害さを知りました。そして、
原爆が起きたあの、つらさ、苦しさを、分かりず
く表現してくれていたのでも、ぼくも原爆
の人が死んでしまったりしていることも、
くわしく教えてくれたり、先生のお父さん
のおぼろしい、体験よでくわしく教えて
くれたり、とても貴重な話をしてくれました。
それから、爆弾の被害の広さを、
くわしく教えてくれたり、爆弾の被害
をはかる、ラジオバンドをおとして行く
ことを教えてくれたり、原爆はいつ
した時の、温度が中心が100万度、外
側が7000度という熱さで、下に、熱
さがすべっていくことも教えてくれた
りして、ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は原爆の授業をしていただき
さってどうもありがとうございます。
どれだけ原爆が人々
を苦しめたりしたことがわかりや
すくわかりました。でもこうして
伝えていくことで戦争をいま
しめることしかかできると思っ
ます。でも人々がいらしゃんのうち
のいなくなるか兵士をなせ日本
におとしたのかなせ二度同じ
ことをしたとかいうことを考え
るとのできる授業でした。
少しこわいぶんもあつたけど
しっかり聞いてわかつたことかいは
はいあってよかったです。ふた
ん掌へないびがいはあり
ました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆はこわいことだけは知っていたけれど、今回の特別授業を受講して、予想以上にこわいものだと知りました。けれど、その場にいたらもっとこわいと思いました。今の日本は、平和だなと思いました。原爆は、広島市以外にも沢山の市などが爆弾を落とされていると知りました。1つの爆弾で、何十万人も命がなくなっていると考えたら、本当にこわいと思いました。候補になった都市が京都府だったけれど、文化や古い建物などがあるから、こわくはないとして、爆弾を落とさなかった。なので、京都からいじで良かったです。でもちがう府が爆弾を落とされてしまっていると考えたら、すごくいやな気持ちになりました。空から、爆弾が時速300kmでパラシュートで落ちてきたらすごくこわいなと思いました。今回の授業を受講して、本当に原爆のこわさがわかれました。今の平和をありがたく思っていたいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名刺

1

この授業を受けて、戦争はやってはいけない
 ということを改めて感じました。それとともに
 戦争の^{こと}恐ろしさ、原爆の恐ろしさを感じ、いろ
 んなことを知ることができました。原爆を体験
 した人たちはどんなにこわかったことだろうか……
 このようなことが、話を聞いている最中、頭の中から
 はなれませんでした。被爆者は全体が墨のよう
 に焼けこげ、助けを求めます。じぶんが兵隊だとし
 たら、助けてあげたいと思いますが、被爆者が多すぎ
 るし、自分の任務もあるから、助けたくても助けら
 れないです。その気持ちは、池田義三さんも同じ
 で、つらい体験をしたなと思います。だから、最後の動
 画で義三さんは泣いていたんだなと思いました。
 実察に体験しなくても、映像や話を聞いてい
 ると、恐ろしさを感じますが、実察体験した人に
 比べたら、全然で、自分は幸せなんだと思っ
 ました。戦争は二度とするものではないという
 ことを、次の世代に伝えていけたらいいなと
 思いました。

実察



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の授業を受けて原爆の恐ろしさを知りました。特におどろいたのは、「リトルボーイ」が投下された時の温度が太陽の温度をこえていたことです。また、その温度で人間の水分が一瞬で蒸発してしまうことにもおどろきました。ありえないようなことだと思いました。私は、原はくはばく発するた"けた"と書いていました。当時の人々は、とても苦しかっただろうなと思いました。助かった人は、本当にきせきた"と"書いていました。そして、戦争は、絶対やってはいけないと改めて思いました。日本はやいーのひはく国なので、当時の人々がうけた体験談をうけついで"いきたい"です。



原爆先生の特別授業を受講して

表

おいそがしい中、ぼく達のために、戦争中の広島のことについて教えていたたきありがとうございますと言いました。

ぼくは、助けたくても助けられないのが印象に残りました。トラックに乗ろうとしているから手をつかんで乗せてあげようとしたのに、皮がはがれて逆に苦しめてしまうのがすごくかわいそうだなと思いました。戦争の残こくさや原爆のせいで死んでしまった人や悲しんだ人がたくさんいるのを改めて知り、絶対に戦争はしてはいけないなと思いました。特別授業をしていたたき、本当にありがとうございます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は広島原爆のひびきは昔読んだ「ひろしまのヒビカ」という本でなんとなくは知っていました。小さいころ読んだ時、ショックを受けましたが、今日の授業を聞いて、残さくさが分かり聞くのが辛くなりました。けれど、広島の人達はもっと辛かったと思います。

私が一番ショックを受けたのは、やけどで人の皮膚がただれてた水落ちてしまったり、手を引、張るとうでがしびれてしまったという言葉でした。そんなに簡単にうでが落ちたり皮膚がはがれることにおどろきました。

体中とても痛いのに助けを求めて、手をななめ前にして歩いている人を想像すると、何でアメリカは原爆を落としてきたのだらうと思いました。原爆のことを知っている人もどんどん亡くなってしまったりし、言合せる人が少ない中、貴重な話をありがとうございました。世界中の人やこれから未来の人にも広島や長崎の原爆について知ったり考えてくれるようにしてくれたら良いなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受けて、戦争はこわいものだと改めて知りました。また、原子爆弾一つでも、ものすごい威力をもっているんだなと思いました。戦争はもう2度おきてほしくないです。最初に3分位の動画を見たとき、原子爆弾の強さ、すごさ、が伝わりました。一瞬で体内の水分子が蒸発してしまうと聞いたとき、とてもこわかったです。また7000℃がとてつらくて熱いが、よくわからなかつたけど、太陽よりも熱いとわかり、少しゾッとしました。この授業を受けて、もしも明日戦争がおきたらどうしようと思ひ、鳥肌がたつきました。戦争を経験した人は一生戦争のことは忘れられないんだと思いました。戦争のことは忘れたくても忘れられないんだと思いました。戦争はとてもこわいけども、戦争のこと、原子爆弾のことを知りたいと思いました。こわからは戦争のこと、原子爆弾のことを頭に入れて生活していきたいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、この授業を受講して、とても衝撃をうりました。
原子爆弾が7000℃にもなり、太陽以上の温度だということにおどろきました。地面は3000℃にもなる、と聞いて人が炭化することが本当だとや、と信じられなかったくらい、事実として考えられませんでした。私の祖父が2歳のときに太平洋戦争が起き、2歳のころのことなのでよく覚えていると言っていました。今までは、「うらさいな」「う、とうい」と思っ聞き流していたことを、今回授業を受け、自分が思っていたこと、その行動をとても恥じました。原爆で24万人が被爆者、14万人が死者数で、この苦しむ人達のことば人類が目も背けてはいけなことです。原爆のことを考えるのはいいことでも、私も次世代に考えをつないでいきたいと思いました。戦争が起きることは、たくさん尊い命をうばう、ということなので唯一被爆国であり日本の考えを世界に広めて、全ての人々が戦争、そして原爆について考えてほしい、と思いました。早く戦争がなくなり、このようなことをくり返さないような未来になってほしいです。



原爆は資源に限りはない

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

話を聞いて原爆のいかにやれ
れによる人へのえいきょうを知
りました。た。た。一。つ。三。メ。ー。トル
ほ。ど。し。か。な。い。原。爆。が。広。島。の
人。口。の。40%。も。殺。し。て。し。ま。う
と。思。う。と。し。て。も。こ。わ。い。も。の。た
な。と。思。い。ま。し。た。原。爆。は。爆。発
だ。け。だ。と。思。て。い。た。の。で。熱。線
も。す。こ。い。と。し。て。改。め。て。こ。わ
い。な。と。思。い。ま。し。た。被。害。に。あ
た。人。の。中。を。爆。心。地。に。向。か。て
走。い。て。い。た。池。田。義。三。さ。ん。は
と。し。て。も。こ。わ。か。た。だ。ら。う。な。と。思
い。ま。し。た。こ。う。い。う。こ。し。か。ら。原。爆
は。も。う。二。度。と。使。て。は。い。け。な。い。も
の。だ。と。思。い。ま。し。た。そ。し。て。関。係。な
い。人。ま。で。殺。し。て。し。ま。う。戦。争。も。や
て。は。い。け。な。い。も。の。だ。と。思。い。ま。し。た。



原爆先生の特別授業を受講して

表

まず、私が原爆先生の授業を受けて思ったことは、「こわい」と思いました。特に、原爆先生のゾクとする表現がこわいと思いました。また「原爆症」という病気で今もたくさんの方が苦しんでいるということを聞いてとてもかわいそうだと思いました。戦争はいっしょにして命がうばわれてしまうものだと思いました。他にも、原子爆弾を投下するには、「直径5kmを起える」「平野である」「空襲がなかった」という3つの条件がそろわなくてはいけないことを知りました。原爆が爆発すると太陽の表面温度が6000℃にたいし、上空で爆発したときの温度が7000℃ときいて、とてもおどろきました。



も朝日新聞に掲載されています

原爆先生の特別授業を受講して

表

自分は原火暴先生の授業を受けて原子火暴弓単がもたらした悲惨さ已文めて矢口りました。自分はある程度矢口っていたつもりだったのですが、ここまで悲惨なことが起きていたとは知りませんでした。当時の兵隊さんにも「原子火暴弾」なるものが落ちたのだと矢口らされていなかったにおどろきをおぼえしました。また2発目の火暴弾が投下されると矢口ったときどきに落ちるのかも分からないうし、一度見ているのできょうふで表現できないくらいにこわかったと思います。また、原火暴の投下先第一ころは京者隊が最初選ばれていたのはとてもおどろきました。



平和財団に属する方

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、東小に来て、原爆のことについて教えてくれてありがとうございました。ぼくは、広島に原爆が落ちたときや、その後の悲しさを改めて知りました。そして、当時に生きていた人々がどのような体験をしたのかを深く知ることができたのでよかったです。また、その体験によって人々がどのように思ったのかを知れてよかったです。今の日本は、戦争がなくて平和ですがそれがあたり前ではないんだなと思いました。なので平和でよかったと思いました。これからも、日本の人々が第二次世界大戦のときのようにならないで、これからもずっと平和が続いてほしいなと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

私は原爆の話聞いて、こんなに
もおそろしいことだったのだと知った。
原子爆だん、それは、約7000%の爆だん。
太陽よりも熱いものが近づいてくる。
それにより、人が灰になり、いっしょんで
なくなったり、あとからくさ強いうすりに
巻き込まれて死んでしまったりといったこ
とが起る。何万人もの人々が、このよう
な原爆で、命を落としてしまったり、大けがを
おっている。私は、なぜこのように人を傷つ
けようことをして、たくさん命をうばうのか。
国のためだとしても、やってはならない
ことだと思ふ。これにより、関係ない幸せ
に暮らしていた人も命をうばわれてしま
う。戦争は、人々が苦しむだけであって、良
いことは、なに一つないと思ふ。だから、
戦争のない平和な世界をつくらなければならない
と思ふ。



原爆先生の特別授業

原爆先生の特別授業を^{じゅこう}受講して

表

私は先生のお話を聞いている間、こわくて、
つらくて、ずくとふるえていました。

外国人の中には「日本は原爆くを落とされて
頭が冷やせた。だから落とされて良かった。」
なんて言う人もいます。ですが、本当にそれで
しょうか。私はそうは思いません。何万人もの
命をうばった原爆くは、凶悪的殺人道具です。
だから、日本に原爆くを落としたのは、私はいい
ことでは思えませんでした。

私は、平和な時代に生まれて幸せです。
でも、戦争中に生まれた人がけして不幸せ
だとは思いません。戦争中に生まれた人にも
幸せだ、大人は少なくないと思います。
私のひいおじいちゃんも、もう93さいで戦争
経験者ですが毎日幸せそうです。それは、
毎日の日々の中に楽しみを見つけ、それを知る
ことで幸せになれるんだと思います。戦争か
ないのは大切なことだけれど、私は、日常の何で
もない日々の中に喜びを見つけられる人に



原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、原爆先生の話を聞いて戦争も、原爆も、空襲も、二度と起こってはならないものだと思います。当時の日本は負けず嫌いでなかなか降伏しなかつたので、うらまれても仕方ないのですが、落とす方も落とす方です！そんなことをしても多くの人の命がうばわれるだけ。いいことなんて一つもありません。しかもほぼ木陽の表面温度と等しい爆弾を投下され、体がぼろぼろになり水のある所に投じこんで死んでいく人のことを考えると可哀想でならない。肉がはがれる人の話も聞いていられない。こんなことは悲慘のなにものでもありません！それに、池田義三さんたちが頑張った、『多くの遺体を運び、消却する作業』なんて腐敗臭も耐えられない私にはとてもできることではありません。池田さんもやりたい気持ちはあったらうに、助けをやりたいという気持ちで頑張ったことはものすごい功績だと思います。この授業を受講し、原爆は思ったより悲慘でした。当時の人の思いを大事にし、平和な世界を引継いで行きたいと思ひます。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ほくほ、皮が、かたたれ、つかむととれる、という
 ところで、きょうふで、いっほいになりました。
 人形を見て「きれいすぎる」その一言が一言たか
 らひさんごが、きょうふがこみあげてきました。
 戦争のひさんごを知ることができました。
 歴史上、争いはいくどとなくくりかえさ
 れてきました。しかし、「おれには関係ない」
 と思ってる人もいると思います。しかし、
 100年前に、中国の土地をうばったりなど
 いろいろたなことをしてきました。それを、忘れる
 ような、いい国にしていくことが重要で、と
 思うのです。最後のビデオを見て、住ま
 ないものではない」といながら、泣いていて、
 すごくこころも、悲しくなってきました。たまた、
 1時半ほどの話で、ここまで考えさせられま
 した。ありがとうございます。



原爆先生の特別授業を聴いて

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して



池田先生

今日は、原爆のことについての特別授業をしていただいた、ありがとうございました。90分間、原爆のことをたくさん教えていただき、最後の方は、少し泣きそうにな、こしました。私が一番心に残ったのは、原爆資料館の人形を見た池田先生のお父様が言った、「きれいなまゝ」という言葉でした。自分たちには、あの様子だけ、おごいありさまを思いうかべることができ、ほど、ひさんな人形だけだと、原爆を体験した方たちの目には、もっとおごたくしく、ひさんな人々が移っていたのだと思うと、自分があの時代に生まれなくてよかった。という安心感と、その時代に生きた人達に対する情けがこみよがてきてしまいますが、ま、そんな感情より、自分が平和のためになにかができるかを考えなければいけないのだな。と思います。今日は、90分間、本当にありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は東小にきてくれて、いろんな事を教えてくれてありがとうございました。

ぼくはこの授業でいろんな事がわかりました。

一つ目は亡くなってしまった人の数です。ぼくは、最初の方は5万人くらいだろうと、思っていたのにその3倍もあると聞いてすごくびっくりしました。

二つ目は、ぼく、心地の様子でも、ぼくはぼく、心地でも、さすがに人はいるだろうと思いましたが写真を見ておどろきました。一人もいませんでした。

ぼくはぼく、いろいろ知ることができましたが、まだまだ、せんだん原爆の事、少しは知っています、と思います。

ぼくは、原爆の事を一番よく知っているのは、実さ、いには体けんした人なれなと思ひました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の授業を聞いて、おもたのは、広島に470重いリットルボーンが落とされて、多くの人々が被爆したことが、あんなんであどろきました。たった1回の原爆で、こんな多くの人々が死んでしまったことを初めて知った。広島の人々が35万人にもかかわらず、被爆死者をあわせて38万で、人口よりも多い人たちが、しんだりけがをしたことには、ぼくは、びっくりしました。

ぼくは、広島での原爆で、たくさんの人たちがけがや死んだりして、すごく、こわいきもちになりました。



原爆先生のご講演の記録

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

(早くは、原爆先生の授業を受けて、
聞いたことのない話を聞きました。
遺体のしりや、ひばく者のかなしみの
大変さが、とても分かりました。
くわしい原爆のことが、とても分かり
ました。

原心地にある、原爆ルームに、行き
たくな、てきました。とてもひさなすがた
のひばく者をトラックに乗せて、はこう
作業をしていた、池田義三さんは、し
てもえらひと思ひます。なにけな
い、この生活を、している時に、もし今、
原爆が、投下されたら、と考える
と、とてもゾクゾクします。

父にも、母にも、みんかにも、このことを伝え
たいです。「日本では、こんな、ひさな事が
あ、たんたよ」とね。



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

兵隊

表

今日は、本当にありがとうございました。先生の話を聞いて、人々が思った気持ちに分かると思っています。助けてって言っても助けてくれない悲しさや、助けたいけど助けてあげられない悔しさとか分かった気がします。私が兵隊だったらせうたい助けると思っています。でも皮がはがれるとか絶えられないと思います。それでも助けたいと思う気持ちの方が強いと思います。2万人もの命が一瞬間でうばわれて原爆のおそろしさを矢口することができました。

これからせうたいに戦争のない世の中にしていきたくたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は原爆の話をして下さり、ありがとうございます。原爆で亡くなってしまった人々のことを前から聞いていましたが、こんなにもつらい思いをしていたなんて知りませんでした。今日の話聞いて、原爆のおそろしさや、人々がどのくらいこわかったかなどが分かりました。私は爆心地から150mにいたのにきせき的に助かった人がすごいと思いました。兵隊さん9人も無事に助かり、いろんなぐう前がかさなってすごいと思いました。今でも原爆しょうで苦しんでいる人がいるので、苦しみからかいほうされるといいです。聞いていて、とても胸が苦しくなりました。



新島ひろしま先生からのご挨拶

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/7

ぼくは、原爆のことを本当にちゃんと考えた事はありません。なので改めて考える機会となり原爆によって世になった人達のことや原爆そのもののおそろしさなどや色々な条権なども知り原爆ドームや広島の人達が伝えたいことがなんとなく分かった気がしました。

広島市の人口の35万人中24万人が被爆しその内14万人が死亡したと聞いたときに被爆率70%というのは、10人に7人が被爆し死亡率は40%。なので5人に2人が死んでしまうと考えた時も年々のことを考えてしまい、約80人に約32人が死んでしまうと考えるととてもこわくなりました。さらに原爆の温度についても考えてしまうところがありました。

中心温度は100万℃そして表面の方の温度は太陽の表面温度より1000℃も熱いものか上空600mに来たと考えるとゾッとしました。

今回の原爆についてのお話で原爆について改めて考える機会になりました。



も朝日新聞に掲載された

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の授業を受講するまで、原爆のことを特に印象的に思
ていませんでした。原爆で被害を受けた、といっても、どのような被害だ、たの
かは知らなかったからです。原爆先生の授業の最初の方も、あまり残酷な話
ではなかったように思いました。しかし、半ばになると、だんだん、耳をふさぎた
いくついのひどい様子が語られていくようになりました。『人間ではないよう
な姿』『全身をヤけどした』『皮膚がはがれた』など、信じられないような話
でした。でも、全て実際にあった出来事なのです。罪のない、戦争をしたく
もない人々は、無残に殺されてしまいました。

だからこそ、日本は降伏したのだと思います。戦争がない時代に
生まれた私たちは、とても幸福です。昔の人々も、できるよかったです。今
の人々と魂を入れ替えたかたかもしれません。しかしそれは、かなわな
いことです。だから私たちは、ただただ楽しく生きるだけではなく、原
爆を受けた人々のいたまじや、戦争に遭った人々の悲しみをか
かえて生きるべきだと思います。

私は今回の授業を受けて、今、私たちがこうして、学校に通えること、外
で自由に遊べること、習い事ができることは、普通なんかではなく、とて
も幸せなことなのだと知ることができました。だからこれからは、一日
一日を大切にしようと思います。



活動写真の原爆先生

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

ぼくは、原爆先生の話を聞いて、たまたま60年前には、原爆が投下され死者が14万人もいた時代に比べると、ぼくはとても平和な時代に生まれてきたんだなと改めて思いました。

そして、原爆により、全体がやけてしまってくるしみもがいている姿を想像すると悲しく、さんざんだなと思いました。

原爆先生の話を聞いていた時は、ふるえるようなこわさが全身にたたくてきました。

ぼくが生きている時代の中、これから先の未来が、けして戦争がなく、みんなが平和に過ごしていけるような世界が、つづいてほしいと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆先生の池田眞徳先生に「70000°の少年」というお話をしてもらいました。最初は「70000°の少年、えなんだ？う？」と思いました。でも池田先生が分かりやすく教えてくださったので分かるようになりました。70000°というのが原子爆弾の爆発の温度で少年は少年を英語にすると「リトルボーイ」です。リトルボーイは原子爆弾の名前なんです。授業はクイズを入れたりしてくれていて受けていて楽しさやおもしろさを感じました。池田先生がじっさいに再現してくれたり音を口で出してくれているので分かりやすかったです。原爆という物を糸色体に忘れてはいけないと思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

ぼくは原爆先生の授業を聞いて原爆のひ
さんさをあらためて知りました。ぼくは米軍が広
島に原子爆弾をとうかす映像をみてなん
てことをするんだとはじめてみたときは、その
思いしかでませんでした。ほかにも原爆の
いろいろな言葉をしてくれて「7000°Cの少年が
言売んで見たくなりました。ほかにも先生
のお父さんが泣きながらインタビューに
答えていてどれだけお父さんが非しい
思いをしていたのかがわかりました。
もしも今こらやうなつうに生活している時
に広島と同じように原子爆弾が投下
されたら多くの人が死に多くの人が泣き
さけび多くの人が非しむそういった非しい
ことはぼくは、もうおきてほしくないです。
ぼくは、こういったことがおきないようた
いのっ、ています。今回はありがとうございました。



本朝日新聞記者 原 研三

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

ぼくは、原爆先生の特別授業を受講しておどろいたところが2つありました。1つ目は、600mの高さで爆発した原爆の表面が約7000℃もあったということです。太陽が6000℃ほどなので、その温度におどろきました。2つ目は、原爆の熱でしんで体の水分がかわいたことです。先生に、「人間は炭素でできていて、しんで水分がかわき、炭になり、衝撃波で破けたので、いなくなったように見える」ということを聞き、そのことにおどろきました。他にも、はじめに知ったことで、たとえば、原爆をおとした、B29の名前がエノラ・ゲイ号で、その名前は機長の母の名前だということ。そして、義三さんの話では、元安川で、たくさん死体がういていたということ。義三さんはドラマか人のかげにいて助かったこと、もうきせきかと思いました。広島をくわしく知ること、やはり戦争にいいことはないんだと思いました。広島にもし行くことがあったら、先生が言っていた事を思い出してみようと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

11/17

原爆のおそろしさとともに、平和というものがどれだけ大切かを学びました。先生の話を聞いて、たまた一発の爆弾で町は消え去り、人々はむごたらしいおりに変わり、多くの人たちは命を捨て、または人生を変えなくてはならなくなったことを知り、恐怖で本当にふるえました。けれど、今現代に生きる私たちが話を聞いて想像したときで「これい」と思うならば、被爆した方々はとれほど怖い思いをして、はかりしな、悲しみをせおい、広島の光景が脳裏に焼きつたのが、考えさせられました。今、被爆者の高齢化が進み、実際、経験した人は少なくなっています。ならば、唯一の被爆国の人として生まれた私たちが後世に引きついでいけばいいと思います。世界は今、新たな問題をかかえ、紛争や内戦が絶えず、70年前の日本の人々のように困っている人たちがだんだん増えていきます。そんな状況なのに、恵まれている私たちが日本人が何もできずにいることは、いけないと思います。日本の「平和意識」を引きつぎ、後世の人々へ伝えられる人々は、私たちしかいないと思います。



原爆先生の特別授業を受講して

表

私が原爆先生の授業を受けてみて、私の
第1印象で思ったことは人々が苦しむことがわ
かっているのにあんなにも、次々と人々の命をう
ばって昔の人たちは、心が強いなと思ったことです。
戦争のことは、知っていましたが、40%も亡くな
る人の率が高く、いっしょんで生命をうばわれ
てしまうほどのおそろしい戦いとは知りま
せんでした。次に私がおどろいたのは、
爆発した時の、温度が、7000℃で、太陽
の表面温度が6000℃ということでした。
その時の状況は、上空600mに太陽
があるのと同じなのでとてもおそろしい
なと思いました。私は、その時に、みんな
で協力してやりとげたから、今の日本が
あると思います。今の人たちは、昔の人に
感謝をしなくてはならないと思います。
今も戦争があるこの世界。みんなが協
力し、少しでも戦争のもととなるけんかを
減らしていきたいです。